

「三人での時間」

古川 玲実ふるかわ れみ

私には二人、お姉ちゃんがいる。一人は高校二年生の、るみ。もう一人が中学二年生の、あみ。そして私、れみだ。

よく呼び間違えられる名前を考えたのはお父さん。間違えられるのに困ってしまうことはあるが、自分の名前は気に入っている。

普段からお姉ちゃん達を呼び捨ての名前で呼んでいる。二人いると、どちらのお姉ちゃんを呼んでいるかわからなくなるからだ。気がついたらそうしていた。

まず、るみの話。アイドル好きで、家ではいつもアイドルの話をしてくる。私は仕方なく話を聞いてあげているが、好きな物の話をする時は本当に良くしゃべっている。普段はどちらかという静かだ。そのおかげで、私はアイドルには興味はなかったがすっかり詳しくなってしまった。学校でアイドル好きのお友達の話聞いて理解することができた。その点は感謝してもいいだろう。きつと作文のネタにできると言ったら、ネタ使用料を払えと言っさそうなのでこっそり書くことにする。ここまでは良い点を書いていないが、良いところもある。一番に思うのが、努力家なところだ。家に居る時はほとんどの時間を勉強している。試験前になると、ペンを握りすぎて湿布を貼っても勉強が続いている。おかげでとても良い成績だ。その根性と努力する姿は私も見習いたい。きつと大学は望み通りのところに合格できるよ。

もう一人はあみ。あみは姉というより友達に近い。顔もあまり似てなくて、背格好が近いので、よく「お友達？」と聞かれる。何をするのも二人で始めた。ピアノ教室も書道教室も毎週二人で通っている。あみの部活動はバレエ部だが、バレエポールを始めたのも二人で始めた。気がつけばとなりに居てくれて、私のことも良くわかってくれるし、とても心強い。腹が立ってきげんが悪い私の扱いもとてもわかっている。うちが円満にまわっているのはあみのおかげだと思う。本人はそんなことに気がついていないと思うけど。

週末はバレエの練習で夜遅くに帰ってきて、宿題をしなから、ヨダレをたらし、寝てしまってる姿は笑えてくるが、とても誇らしく思える。

私は来年は中学生だ。最後の一年、同じ学校で一緒に過ごすことが出来るのをとても楽しみにしている。

三姉妹でケンカもすることもあるけれど、お古ばっかり回ってきて嫌だなど思うこともあるけれど、私はとても楽しい生活を送れている。これから成長すると、今以上に一緒にいる時間が少なくなるだろうが、これからも三人で居る時間を大切にしたいと思う。

最後に、みんなを産んでくれたお母さんありがとう。これからもよろしくお願いします。